慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	第63巻第1号-第6号総目次 : 昭和45年上半期
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1970
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.63, No.6 (1970. 6) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19700601-0113

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌　第63巻　第1号～第6号　総目次　(昭和45年上半期)

高木寿一教授退任記念特集号

〔論　説〕

		号	頁	通頁
J. S. ミルの財政学説における若干の重要課題に関する解釈	高木寿一	2	1	113
ブリューニング政権における財政政策の指導	大島通義	2	15	127
法人税の短期的転嫁——転嫁計量分析の先駆的作業としてのK-Mモデルのわが国産業への適用——	古田精司	2	36	148
財政モデルによる政策シミュレーション	西野義彦	2	67	179
マスグレイヴによるヴィクセルの租税帰着理論の定式化について	飯野靖四	2	86	198
高木寿一名誉教授略歴および著作目録		2	103	215

論　説

1860年代におけるイギリス労働運動と労使関係——労働組合総評議会の成立について〔2〕——1867年の第2次選挙法改正をめぐって	飯田　鼎	1	1	1
法人税帰着のクロス・セクション分析——集中度・利潤率比モデル：Kilpatrickモデル——	古田精司	1	17	17
生産と消費の矛盾 (2)——恐慌論研究のために——	井村喜代子	1	45	45
鋼鉄への転換点におけるイギリス製鉄・鉄鋼業の一分析	栗本慎一郎	1	76	76
アメリカ労働運動の経済への影響	川田　寿	3	1	219
1860年代におけるイギリス労働運動と労使関係——1868年の労働組合総評議会 (Trades Union Congress) の成立を中心として〔3〕——「合同」主義 ('Amalgamated' principle) の意義について	飯田　鼎	3	20	238
国内純移動人口の検討	西川俊作	3	37	255
社会政策論の「再構成」の問題——再び『独占資本主義段階における社会政策と労働力政策』に関連して，大河内一男，服部英太郎両氏の『戦時社会政策論』の再検討と批判——	飯田　鼎	4	1	279
「社会主義経済法則論」について 1——「社会主義経済学」体系化の論理——	平野絢子	4	16	294
東南アジアの輸出伸長——東南アジア諸産業の比較優位——	佐々波揚子	4	30	308
均衡点存在問題の新局面	宇佐美泰生	4	46	324
『経済学批判要綱』における商品論	遊部久蔵	5	1	353
1860年代におけるイギリス労働運動と労使関係——1868年の「労働組合総評議会」(Trades Union Congress)の成立を中心として〔4〕——炭鉱労働組合，綿業労働組合の動向	飯田　鼎	6	1	419
経済の基本的構造の決定 (一)——投入・産出分析の手法による——	尾崎　巌 石田孝造	6	15	433
独占段階における停滞傾向——独占資本主義段階における資本蓄積 (2)——	北原　勇	6	36	454
日本帝国主義下における「満州」への朝鮮人移動について	松村高夫	6	61	479

三田学会雑誌　総目次

資料・研究ノート

		号	頁	通頁
株式会社における所有と機能	飯田裕康	1	99	99
アメリカ西漸運動	中村勝己	3	49	267
極大利潤追求の終焉と新しい企業目標——ガルブレイスの「新しい産業国家」における売上高最大成長率説のひとつの解釈——	小嶋光昭	3	53	271
1769年の Adam Smith——Adam Smith の Sir David Dalrymple, Lord Hailes 宛未刊の手紙について——	小池基之	5	26	378
メアリ・ウルストンクラーフトの伝記について	白井　厚	5	35	387
海外における法人税転嫁の実証分析——K-Mモデルの西ドイツとインドにおける適用——	古田精司	5	45	397
現代組織についての試論	青沼吉松	6	88	506

書　　評

リチャード・N・クーパー著『相互依存の経済学——大西洋共同体における経済政策——』	深海博明	1	106	106
ダンカン・バイゼル著『手織工——産業革命期におけるイングランド綿工業の一研究——』	飯田　鼎	4	70	348
土井正興著『スパルタクス反乱論序説』	飯田　鼎	5	58	410
游　仲勲著『華僑経済の研究』	平野絢子	5	61	413
滝　好英著『日本の経済指数——理論と実際——』	鳥居泰彦	5	64	416
ピアソン委員会報告 大来佐武郎監訳『開発と援助の構想』	深海博明	6	96	514
R. ヒルファディング著『金融資本論』(1968年版)	飯田裕康	6	101	519
ジョン・ヒックス著『経済史の理論』	岡田泰男	6	104	522

ノート・コメント

有効需要，過剰設備および物価水準——補充と訂正——	田中　宏	3	59	277